

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、（写真 1）（表 1）などと文中に記載し、右ページに（写真 1）（表 1）などと表記の上、貼り付けてください。

※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。

※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

部門名： カリキュラム・マネジメント実践部門	エントリー名： 名古屋市立 北 高等学校 土方慎良 平成 30 年度第 1 回中堅教員研修
活動名： 主タイトル 命をまもる教育活動 副タイトル 柔道における安全指導と人間教育	
解決すべき課題： 平成 2 3 年（2 0 1 1 年）6 月、名古屋市立高校の柔道部の活動中に、部員が頭部を打ち、死亡する事故が起こった。それ以来続く、名古屋市の柔道安全指導と死亡事故再発防止の取り組みを受けて、実際の指導現場における安全管理の継続・向上を課題とした。中堅教員研修では、教育法規、危機管理を学ぶ中で、安全配慮義務が拡大していることを強く意識するようになった。さらに、ただ事故の無い活動を目指すだけでなく、柔道や部活動を通じて、どのような人間教育をするかということも課題の一つとした。	
目標・方針： 指導者が安全と事故防止に敏感になることによって、子どもたちは生涯に渡って安全に配慮できる大人に育つという信念に基づき、「目に見える安全管理」、「声に出す安全指導」を重視する。 柔道は本来、命を護る対人競技である。また、柔道を始め、スポーツの素晴らしさとは、勝敗への固執や、技術の向上のみではない。稽古前後のミーティングにおいては、対人競技として、相手への敬意を重んじる柔道の精神について共に考えるようにする。他の部活動顧問や学外の指導者とも対話を増やし、情報交換に努める。	
活動内容： ① 中堅教員研修の講義・演習で学んだ危機管理・安全配慮義務の内容をもとに、柔道場の稽古環境を見直した。・・・競技中、足指を挟まないように畳の隙間を詰める。温湿度計の設置など。学校全体としても、保健部が中心となって、体育館等にくまなく温湿度計を設置した。→（写真資料 1～5） ② 保護者の柔道競技への理解・事故対応への備えを高めるために、入部時のお知らせ（A 4 一枚）を大幅に刷新した。・・・生徒、学校、保護者による三位一体の安全管理を目指した。→（資料 1） ③ 名古屋北地区の大会の際、「柔道マインド講話」を担当した。・・・これは、全日本柔道連盟が進める柔道マインド活動（柔道の原点・柔道の心に立ち返る。柔道を通しての人間教育推進活動）の一環として各支部で取り組んでいるもの。出場選手や観客席の保護者の方々に「礼の精神」というテーマで講話した。 ④ 学校全体で部活と学習の両立を成し遂げるため、進路指導主事として「進路だより」や、保護者を招いての「進路説明会」において、研修で得られた内容を掲載したり、話したりした。→（資料 2）	
活動の成果： 練習や大会において負傷生徒が出てしまい、怪我が無かったわけではない。しかし、命に関わるような頭部および頸椎損傷事故は無く、熱中症による重篤な事故も起こらなかった。勤務校の部員は全員初心者であるが、皆が柔道の面白さにひかれ、そして、生涯に渡って安全にスポーツをする姿勢が身についたと考えられる。 安全管理・危機管理に完璧はない。今後、更なる安全指導に努めていく必要があることを再認識できた。 校内で行われた進路説明会では、進路指導主事として、部活動や諸活動は学習の充実と共にあることを強調し、各個人の居場所を大切にしつつ、様々な資質・能力を身につけることの大切さを推奨できた。	
アピールポイント（アイディアや工夫）： ・研修で学んだ内容を、柔道を中心に、多くの場で、多くの人に、様々な角度から広めるように努めた。 ・教育法規・安全管理を意識し、「伝えたかどうかではなく、伝わったかどうか」に力点を置いた。 ・長大な資料を渡すのではなく、簡潔に伝えることや、皆で確認し合うことで協働型の安全管理を目指した。 ・名古屋北地区の大会開会式で、本校部員に学校での様々な取り組みについて発表させ、地区で共有した。 ・顧問、マネジャー、選手、保護者がそれぞれの立場から安全管理に努め、命をまもる意識に厚みが増した。	

※事務局記入欄

【様式 2】

No. A-51

（資料 1）入部時に配布し、柔道競技への理解を求めるもの。家庭と学校で同じものを共有。

3. 中央研修を活かした実践報告・・・名古屋市立北高校柔道部入部当初資料より

柔道部入部希望生徒保護者様

2011年6月、名古屋市立高校の柔道部で死亡事故がありました。2012、2018年は本校でも大きな怪我（右肘骨折、右手骨折）がありました。下配をよくお読み頂いた後に、この紙をご提出下さい。

1 柔道は怪我が起こりうるスポーツです

筋力の向上、顧問不在で行われている時間もあります。怪我をしないためにも稽古は休ませないようにお願いします。また、方が一、怪我があった場合、出来る限り早急に異動者の方へご連絡したいので、緊急時に連絡がとれる電話番号等を掲載お教え下さい。（裏面に記入）

2 柔道はある程度、お金がかかります。（一般的なものよりも費用は高いです）

柔道衣は最低2着必要です。4,000円程度の安価タイプと、20,000円程度の試合用が最も経済的かと思いますが、そして、柔道連盟登録費として2,600円徴収いたします。さらに、段や級など、資格が欲しい場合は月次試験（つきなみしけん）という毎月行われる試験を受けなければなりません。初回3,000円、二回目からは1,800円、昇段申請には2万円ほどかかります。なお、月次試験は学外行事ですので、学校の保険の適用外になります。

あらゆるケースの備えとして、ご家庭で何か必ず保険に入ってください。＊入部時案内の総合保険等

3 母会等、顧問に困っておいで欲しいことがあれば、お教えください。（裏面に記入）

柔道は相手のユニフォームをぶつかんだり、首を絞めたり、関節を逆に伸ばしたり、肩にたたきつけたりするスポーツです。持病等がある場合は予め、お教え下さい。また、柔道は相手と組み合う際に、相手の指が目や顔に触れるケースがあり、顔に傷が癒えることがあります。時に女子の保護者の方は、その旨ご承知お下さい。なお、男女共に稽古をします。

稽古相手は本校の生徒のみとは限りません。合同練習にもよく参加します。O日や他校の生徒、近隣の小中学生、時には顧問の息子など、稽古に参加する顔ぶれも様々です。

4 重大な事故への備え

柔道の限、最も恐ろしいのは生命に関わる怪我をすることです。特に、頭部への衝撃は重大な怪我です。強打に関わらず、頭部を打った場合、その瞬間から稽古を休止するように指示します。昨今、指摘されていることは、『セカンダインパクト』と言われるものです。頭部を打ったその時は大丈夫でも、2回日の衝撃で脳震盪状態に陥るものです。2011年6月、市立高校で1年生部員が頭部を強打し、急性硬膜下血腫で亡くなった事故はセカンダインパクトの一例と言えます。『撃く打っただけだから平気』という思い込みをさせないよう、指導していきたいと思っています。よく利用する近隣の病院を二つお示ししておきます。

名古屋北地区三ツツ 名古屋市北区（北高南西）052-902-7001 土曜12時半まで、木曜午後休診
杉山医院 豊山町（豊橋交差点北西）0568-28-1181 土曜12時半まで

以上、色々お伝え、お願いましたが、怪我を予防しながら活動していきたいと思っています。近年は、熱中症対策も叫ばれるようになってまいりました。H30年度、柔道場は湿度計を設置し、稽古の際、顧問・主事・マネージャー等で稽古環境が安全かどうかどうも確認するようになりました。

北高校柔道部はO日と私が力を合わせて立ち上げた部活動です。更なる歴史を創っていききたいと思っています。その為には、保護者の方のご理解とご協力が不可欠です。試合の応援、練習の見学等、ふるってご参加ください。また、怪我の発生時等、顧問の自宅から生徒を乗せて移動する場合があります。もし、安全面を考慮して、辞退される場合は、必ずお申し出下さい。何卒、宜しくお願い致します。

柔道部顧問 土方慎良	
以上のことを了解したうえで、柔道部に入部いたします。	
生徒氏名（	）
保護者名（	）

（写真 1）道場内の安全管理
温湿度計の設置と活用



（写真 4）過去の整列方法



道場では一般的な、指導者中心の整列。大会時等、必要に応じてこちらの整列も行う。

（写真 2）裸足で競技する特性を
踏まえ、畳の隙間を紙で詰める。



（写真 5）現在の整列方法



円形状で整列するため、お互いの表情が確認できる。選手の健康状態を把握する場合は、効果的である。

（資料 2）進路指導主事として学びの啓発。
全クラスへ配布。研修で得たことを随時掲載。
下の号では、大震災時の入試逸話を掲載。

進路だより

93777
2018 6/15（金）No.4

1年生

文部省民について、考えは深まりました。『学部学科がわかる本』（四谷学院）、『進引き大学辞典』（いっすな）の二冊を利用して自分の進路について考える時間を持ちました。また、担任の先生から紹介される『夢ナビライブ』（～7/28（土））に参加してメッセージが送られる生徒会イベント）を利用するのはいかがでしょうか。 6/18（水）は小テスト、6/27（水）からは期末考査です。

スマホが中毒に注意！ スマホに時間を奪われている者は目を覚ませ。

2年生

1年生と同様、『進引き大学辞典』を利用して自分の進路について考える時間を持つのも大切ですが、まずは学力をつけること（国語学習の時間を確保すること。部活動の中心選手になって先輩の時期を迎えている2年生も多いと思います。ただし、家庭学習時間が、部活動時間より下回っていないか）は必要です。

3年生

8/5（日）マーク模試（3年生全員受験）までの長期戦略を練ろう。5月の第1回全統マーク模試の結果が返却されたが、以下、基本的なアドバイスをお伝えします。

① 問題用紙に○×△等をつけ、自己採点をする。もちろん、復習も。選った選択肢△こそ復習。センター試験においては、自分の本番の点数は受験後の4月にしか分からない。つまり、センター試験の直前に、自己採点をして、その点数により止むを得ず決定することになる。これは、国公立大はもちろん、私大のセンター利用でも同じ。正確な自己採点は、間違いない問題につながらない。

② 志望大学・学部・専攻を

概算、最も最低限の大きい入試形式のところを書くこと。センター利用枠は数が少なく、本番の平均点により、難易度も大きく変動する。センター試験は偏差値ではなく、得点で合否が判定されるため、自分の選択科目の平均点が低いときは不利になる。だからこそ、多くの科目を受けるのがセリフ。2018年1月実施のセンター試験受験者5.5万人のうち30万人が7科目受験者、全体的傾向は7科目受験。

文系では、第二部等科目に選択した「政治経済」「現代社会」や、理系の基礎科目「生物基礎」「化学基礎」「地学基礎（うち2つ必須）」が人生を救うことがある。理系でも、第二部等科目に選択した苦手な方の専門理科が合否判定に利用されるケースもある。

③ マーク形式に慣れよう。時間を削って学習しよう

マーク模試の時は、センター試験本番やマークの多い私大入試を想定し、マークシート上の鉛筆を速く、また、普段から鉛筆の速さを鍛える練習をすること。センター試験は時間との勝負が大きい。

筆者が最近感動したこと。

7年前、東日本大震災が起こったのは春先の頃、3月11日であった。翌12日は国公立大学の後期試験。あのとき、被災地の受験生について、多くの困難が訪れたが、先月、宮城県奥の先生と会う機会を得て、当時の話を聞くことができた。

2/25の国公立の前期試験に落ち、3/12の後期試験に向けて努力していたK君は東日本大震災で被災した。当然、ライフラインが途絶え、東京大受験に向かうことができなかった。しかし、同僚の教員の「来賓の方の体験談から必ず敬請聴取がある。チャンスを探そう。」の言葉を頼りに、電気も水も無いまま、勉強を続けた。彼は復旧作業の手伝いと学習を両立させた。可能な限り目の皿と両手を学習を始め、暗くなるまで勉強した。

被災地の彼は、勉強中時になる。K君は、毎晩、一本のロウソクが消えるまでの時間を「有限な時間」として集中学習したそうである。まさに「一本蠟光」である。その間、東大は若干名の合格者を発表する特別入試実施を実施した。K君は8月末の東大入試に挑むことになった。

結果は紙面右上に書いておいたのだが、私が感動を受けたのは結果ではない。被災した現実を受け止めて諦めなかったK君と、不屈の努力を促した教員と、可能性を信じたK君の努力を支えた知恵の人たちの結果である。どんな困難の中でも、結果すると挑戦は前進する。

音くも、東大受験の3月末、彼の帰宅を伝えるかのように、電気が復旧したそうである。